



平成 20 年 8 月 14 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代 表 取 締 役 三 木 茂  
(コード番号：3807 大証ヘラクレス)  
問 い 合 わ せ 先 :  
取 締 役 管 理 本 部 長 上 中 淳 行  
電 話 番 号 03 ( 5212 ) 8790 ( 代 表 )

### 当中間連結会計期間における減損処理に関して

当社では、当中間連結会計期間において、保有資産の大幅な評価減を致しましたので、評価減を決めた背景と今後の方針に関してご説明致します。

#### 記

##### 1. 背景

国内外の金融市場を取り巻く環境の厳しさは、これまでに経験したことの無いものであり、今後の趨勢、回復への道のりには予想し難いものがあります。一方、この金融市場の大きな変遷は、投資家の利益代表としての金融市場の新たな担い手となるべき当社の役割を、今後さらに高めるものと確信しております。

従いまして、経営として、現在の厳しい環境に耐えつつも、この後に来る新しい金融の世界において、当社の役割、責務を十二分に果たせるよう体制を整えるべく、着実に前に進むことが重要であると判断致しました。

その為にはお客様、株主様を初め、当社をご支援頂いている皆様からの信頼を失わないためにも、経営の透明性を徹底させることが重要であると認識し、今回、極めて厳しく資産の再評価を行いました。また、これに伴い経営責任を明確にする観点から、常勤取締役は 15%、執行役員は 10%の年俸を減額致します。

## 2. 今後の方針

将来に向けた経営方針としては、これまで通り中立、公正な立場から金融市場参加者が必要とする実益ある情報サービスを提供して行きます。そして資産の最適配分実現に貢献する中で、投資家が良好なパフォーマンスを実現できるよう最大限の努力を傾注して参ります。

具体的には、金融機関中心に約 300 社でご利用頂いている、これまでの株式、通貨、金利、商品の各市場に係わる分析情報のリアルタイムでの配信（毎日 500 本以上のコメントを配信）に加え、以下の施策を実施して行きます。

- 1) 地方金融機関における金融商品販売の支援ツール「RASHINBAN（海外主要市場の情報誌）」の販売強化（初成約は 2008 年 6 月）
- 2) 株式会社エヌ・エヌ・エーとの共同事業である、アジア中心の新興国市場を調査対象とするリアルタイム情報「エマージング・マーケット・ウォッチ」の販売強化（サービス開始 2008 年 7 月）
- 3) 本格的な携帯向けの速報サービスである「フィスコモバイル（株式&為替）」の販売強化（サービス開始 2008 年 7 月）
- 4) 株式投資に求められる銘柄選定、タイミング判定に有益な投資判断支援ツール「銘柄カルテ」の販売強化（サービス開始 2008 年 8 月）
- 5) リサーチ部門を持たないオンライン証券、為替証拠金業者向けのアウトソーシング事業の拡大
- 6) 今後、成長が期待される独立系フィナンシャル・アドバイザー（IFA）向け支援事業（2008 年 6 月に株式会社 AforL 設立に参画）

今後も、フィスコは透明性のある健在な経営を第一義として、着実に前に向け進んで参ります。

以上